



自分の「好き」を深めよう at 葛西臨海水族園



7月の遊ぼう会では、葛西臨海水族園に行きました。今回は子ども12名、ジュニアリーダー1名、引率10名が参加し、4つの班に分かれました。

午前中は、『自分の「好き」を深めよう』という目標のもと、「自分の移動式水族館を作る」というワークを行いました。水族館の中を班ごとに見てまわり、好きな生き物を探し、知識を深めていきます。午後はみなでお昼ご飯を食べた後、外遊びを行いました。活動後、引率は一日の振り返りを行いました。

遊ぼう会とは？

小学1年生から中学3年生の子ども、高校生のジュニアリーダー、大学生の引率が参加し、「みんなで楽しく安全に」を目標に、外遊びや科学実験など、様々な遊びを一緒に行っています。

引率は子どもたちが安心して楽しく遊ぶことができるように、安全面への配慮、子どもたちの考えを促すような声掛け、子ども同士がかかわりを持てるような場面の設定や環境づくりを心掛けています。

毎回の活動後には、次回以降の会をより良いものにするため、一日の振り返りを行い、スーパーバイズを受けています。

「好き」を見つける

「どんな生き物が好き？」と引率が質問をすると、子どもたちからは、「マグロ!」「ペンギン!」と、様々な名前が上がります。「その生き物について、調べてみようよ!」活動中、引率は、子どもたちの「好き」を引き出す声掛けを心がけました。最初は自分の好きな生き物が中々決められない様子の子も、水族館を見て回るうちに、自分なりの「好き」を見つけ、熱心に観察していました。

自分で調べる楽しさ

展示の説明を読んだり、飼育員さんに質問をしたり、あるいは魚に詳しい子どもで自分が知っていることを教え合ったりと、調べる方法は、子どもそれぞれで違います。「好き」について、自分のやり方で知識を深めていくことで、「学ぶ楽しさ」を味わうことができました。

様々な方法で表現する

見たものや知ったことを絵で表現する子もいれば、文章で表現する子もいます。ワークでは、テーマを決めて生き物を選んだり、説明文を書き込んだり、自分で用意した画材を使ったりと、それぞれが自分なりに工夫を凝らして、こだわりを形にしていきました。完成した作品を見せ合ってお互いの絵のいいところを伝えあったり、「何を描いたの?」と、班のメンバーに聞きに行ったりと、作品を通した関わりあいも生まれていました。



次回の遊ぼう会

次回の遊ぼう会は、10月15日（日）に実施予定です。